

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 山本 佳代子	職名 助教	学位 学士 (体育学) 福岡大学 1996 年
-----------	-------	-------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
社会体育学 レクリエーション	障害児・者 レクリエーション 放課後 余暇 きょうだい

研 究 課 題
障害のある子どもを育てる保護者が期待する、子どもの余暇の過ごし方についての考察 スポーツ施設を利用する地域在住高齢者の生活状況と身体状況について 重篤な病態を抱える子どものきょうだいに対するパフォーマンスアーツを活用した支援の検討

担 当 授 業 科 目
基礎実習 相談援助演習 I 相談援助実習指導 I 相談援助実習指導 II

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【基礎実習】</p> <p>3名の教員で担当し、少人数のグループ指導及び個別指導を行った。履修者の多くが、初めての実習であるため実習先の具体的なイメージを抱くことができるよう、先輩の体験談や DVD を用いた。その後の事前学習では、個別指導を通し各自の実習目的を明確にできるよう促した。また実習中間で帰校日を設け、日誌と学生との面談から実習の進捗状況を確認し、また疑問点等についてはグループワークを行いながら全体の学びへつなげた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習 I】</p> <p>福祉専門職への興味関心が広がるよう、また魅力が伝わるよう具体的な事例や DVD 視聴を取り入れ講義をすすめた。さらに難病の当事者を講師に迎え、相互にやりとりをしながら具体的な困難や支援の方法について学びを深めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導 I】</p> <p>それぞれの領域の実習について具体的に理解を深めることができるよう、先輩の報告会への出席や見学実習を行った。また車いす操作等の実技を取り入れ、介助者と介助される側の体験を通し、実習にいかすことができるよう学びを深めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導 II】</p> <p>一人ひとりが実習に対し、明確な目的を持ち、その目的達成のためにどのような準備が必要かを具体的に考え取り組めるよう、個別指導のもと必要書類の作成を行った。帰校日や巡回では、それぞれの課題達成度を確認し、方向性の転換や継続を学生本人と確認しながら、前向きに実習に取り組めるよう指導した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本レジャー・レクリエーション学会		2004年～
九州レジャー・レクリエーション学会		2013年～

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)
重篤な疾患を抱える子どものきょうだいに対するパフォーマンスアーツを活用した支援の検討	西南女学院大学	○笹月 桃子 野井 未加 文屋 典子 樋口 由紀子 山本 佳代子	

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
障害のある子どもときょうだいの余暇活動支援「ちゃれんじ」	子どもゆめ基金	150.000 円	

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
シニアサマーカレッジ 生き生きチャレンジキッズ	講師 講師	2019年8月2日 2019年12月21日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

- ボランティア相談室
- 障害のある子どもときょうだいを対象とした余暇活動支援「ちゃれんじ」